

## 『あなたにはいいところがある!』

私は、幼少の頃から、母に事あるごとに「あなたには1つだけ、誰にも引けをとらないとてもいいところがある」と、言われ続けて育ちました。「私のいいところって何?」と尋ねても、それ以上は教えられず、「中学生になったら…」「高校生になったら…」と、肝心のそれが何か知ることを先延ばしにされました。

「私のいいところは何だろう?」と自問しながら、かなりの年月を過ごし、きっと、明るいか、元気とか、親切とか、かもしれない。もしかして、年を取るごとに、母の中で『私のいいところ』とやらは変わっていているのか、はたまた、いいところが1つから複数に増えているかも等と、考え続けていました。

結婚相手を前に、母が初めて『あなたの唯一のいいところはね…』と続きを話してくれました。長年、期待していた『私のいいところ』とは、なんと『すぐに忘れるところ』だと! 予想すらできなかった言葉に、頭がくらくらし、ずっと見当違いをして勝手に喜んでいた能天気な自分にも腹が立ってきました。

しかし、改めて思い返すと、そのころ私は職に就き、それまで『私には何かしらいいところがある』という思いが、私の支えになってきたような気がします。嫌なことをすぐ忘れて、苦手な人を大好きになったり、難儀なことを楽しく続けられたり、それは『すぐに忘れる』という私の唯一のいいところのおかげかもしれないと、次第に思うようになってきました。

曖昧であっても、それが前向きに捉えられる言葉なら、まるで、おまじないのように自分の人生にとって凄い効力を長く発揮するのかもしれない。

夫婦喧嘩の後、『あれ?すぐ忘れないなあ』と言われながら、私の唯一のいいところを守るよう努めて、どうにか結婚も続けられているような気がします。

ふと、この歳になって、果たして『すぐに忘れる』ことがいいところだと堂々と言えるのか、違う意味に捉えられそうな危うさを感じている、お年頃(?)なのですか…。

# こどもは、扱われたとおりの人になる! ～ピグマリオン効果～



## 教育的心理効果

教師向け通信 Move on  
215号より抜粋



### 『ピグマリオン効果』

他者からの期待を受けることで、その期待に沿った成果を出すことができるという心理効果。アメリカの教育心理学者ローゼンタール氏が発表した心理学用語で、「教師期待効果」や「ローゼンタール効果」とも呼ばれている。

由来:「昔、ピグマリオンという王様が、自分が彫り上げた女性像の美しさに心を奪われ恋をした。そして、本物の女性に変わってくれないかと切実に願うその姿を哀れに思った神様が、彫刻に生命を吹き込みました。ピグマリオン王は、めでたくその女性と結婚し、幸せに暮らした。」という、ギリシャ神話から名づけられた。この物語の、「心から相手に期待すれば、相手はその期待に答えてくれる」、「期待が相手に対して良い影響を与える」ことを「ピグマリオン効果」と命名。

### 『ホーソン効果』

「ホーソン効果」とは、注目を浴びることで、その期待に応えたいという心理が働き、良い結果をもたらす効果のこと。

アメリカのウェスタン・エレクトリック社で行われた「ホーソン実験」と呼ばれる実験で、実証され、労働条件や経済的な条件よりも、「注目を集めている」という意識が生産性を向上させるとの結果が出ている。

ピグマリオン効果との違いは、人の「期待」に限らず、「注目を浴びている」「関心を集めている」という意識により動機付けされる点です。ピグマリオン効果は、「期待」されることで、その期待に沿った成果を出すというものなので、似ているが少し異なる。

### 『ハロー効果』

ピグマリオン効果と類似する用語に「ハロー効果」がある。「ハロー効果」とは、一部に対する評価を総合的な評価と錯覚して、全体に対する評価が歪んでしまう心理効果。別名「ハローエラー」や「認知バイアス」などと呼ばれる。「ハロー」とは、「後光」や「光輪」を意味する。例えば、「大学出だから仕事ができそう」とポジティブな効果をもたらす場合、反対に、「身だしなみが整っていないから性格もだらしないのだろう」とネガティブな効果をもたらす場合もある。ハロー効果は評価する人の中での認識が歪むという現象なのに対し、ピグマリオン効果は、評価する側の認識が、評価される側の行動やそれに伴う結果にまで影響を与えるという点が異なる。

### 『ゴーレム効果』

ピグマリオン効果と反対に、「ゴーレム効果」がある。「ゴーレム効果」とは、人が他者から期待されていないと感じることによってパフォーマンスが低下する現象のこと指し、ピグマリオン効果と同じくロバート・ローゼンタールによって提唱された。相手に対して期待できない、見込みがないと思っていると、本当にその通り悪い結果になる効果である。

ゴーレムとは、ユダヤ人に伝わる泥人形のこと、ゴーレムには意思がなく、呪文を唱えると動き出す、額の護符の文字を1文字取り去ると土に戻ってしまう。このように、ネガティブな影響を受け動けなくなってしまう様子から名づけられた。